

事例紹介：GoFaによる協働包装ラインの自動化

導入前の課題

- 人手による缶の移載を行っていたため、作業への負担が大きかった。
- 生産数を増やしたかったが、作業者の人員確保が難しかった。
- 従来の産業用ロボットでは、安全柵が必要で広いスペースが必要且つ近くで作業者が別作業を行えなかった。

導入による効果

- 協働ロボット使用による省スペース設計により狭いエリアでもレイアウト変更せずに自動化を実現。
- 人手の作業より生産能力が50%向上した。
- 作業への負担が減り、従業員の定着率が向上した。

ソリューション概要と機能的特徴

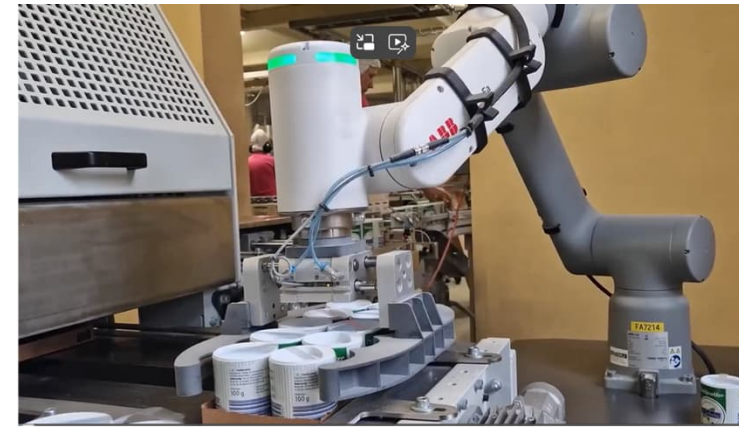
使用ロボット：協働ロボット GoFa5kg可搬

- ハンドの工夫によりコンベアで運ばれてくる製品を10個まとめて包装箱に移載。
- 協働ロボットを使用することで、省スペースなレイアウトで自動化を実現。
- ロボットの近くで包装箱の搬送を人が行えるようにして作業性を向上。
- 専用機に比べると装置の設計工数や機構部品を削減できるため、コスト・メンテナンス費を抑えられた。

ABBならではの！の特徴

- ロボットの早い加減速による生産性の向上
- 重い製品の場合、産業用ロボットでご提案できます。安全ソリューションSafeMoveと組み合わせることで一部安全柵なしの運用もご提案可能です。（右の参考動画をご覧ください）

※ SafeMoveは国際規格ISOに準拠する安全システムで、ロボットの動作監視、ツール監視、停止監視、速度制限等を行います。



参考動画は[こちら](#)



参考動画は[こちら](#)

